

# フォリスチムペン<sup>®</sup>を ご使用になる方へ

在宅  
自己注射  
説明書

監修：日本生殖看護学会・不妊症看護認定看護師 小松原千暁 藤島由美子



次回の来院日

▶  ▶  ▶



サポートWeb

注射方法の動画、よくある質問などご確認いただけます  
<https://follistim.jp>

※ サイトへのアクセスにかかるデータ通信量は、患者様のご負担となります。



フォリスチムペン<sup>®</sup>の使用に際しては、製品に添付されている取扱説明書を併せてご確認ください。必ず主治医の指示に従ってご使用ください。



患者様向け使い方



医療従事者の方へ ▶ この冊子は本剤を処方された患者様へお渡しください。

# フォリスチム®を 正しくお使いいただくために



## フォリスチム®とは？

1日1回、卵子の発育を促す注射剤です .....	3
排卵誘発（一般不妊治療）と、調節卵巣刺激（生殖補助医療）の 両治療にお使いいただけます .....	4
一般不妊治療： 卵子を育てる排卵誘発に使います .....	5
生殖補助医療（ART）：体外受精のために、多くの卵子を育てる 調節卵巣刺激に使います .....	6
使用できない方、注意が必要な方がいます .....	7
注射中や注射後に次のような症状がみられた場合は、 医療機関へご相談ください .....	8
適切に保管してください .....	11



## 自己注射をはじめましょう

注射の前に、 必要なものが揃っていることを確認してください .....	12
手順に従って、注射をしましょう .....	14
● カートリッジと注射針を取り付けましょう .....	14
● 注射の前に、正しく投与できるように調整しましょう .....	15
● 注射をしましょう .....	16
● 注射が終わったら、後片づけをしましょう .....	17



## こんな時はどうしたらよいでしょうか？（Q&A）

18



## 治療記録を残しましょう

20



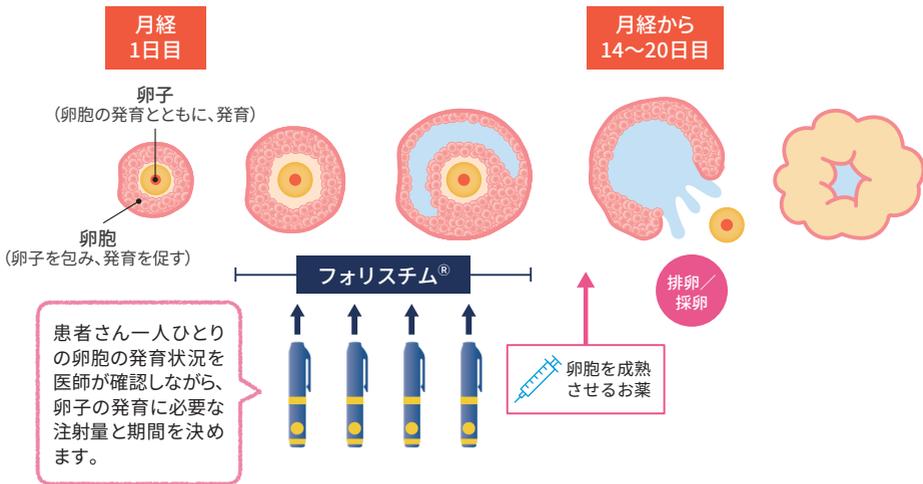


# フォリスチム®とは？

1日1回、卵子の発育を促す注射剤です



## 卵胞の発育とフォリスチム®の注射期間



- 遺伝子組み換え技術を使っているため純度が高く、必要なホルモン(FSH)以外の不純物が入らず、安定した効果が期待できます。

遺伝子組み換え技術について:  
 フォリスチム®の成分(卵胞刺激ホルモン:FSH)は、ヒトFSHをつくる遺伝子を導入した培養細胞により生産され、分離・精製の過程を経て製品となります。つくられたFSHはヒトの体内にあるFSHと同じものです。また、遺伝子組み換え技術を利用してつくられた医薬品の安全性試験は、通常の医薬品と同様に行われています。

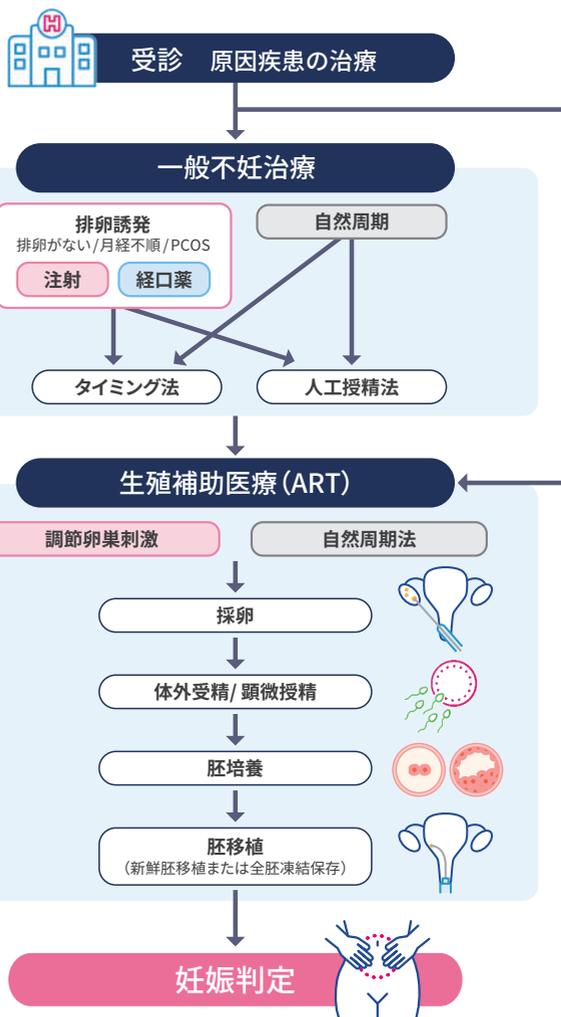


# フォリステム<sup>®</sup>とは？

排卵誘発(一般不妊治療)と、調節卵巣刺激(生殖補助医療)の  
両治療にお使いいただけます



## 不妊治療の流れ



フォリステム<sup>®</sup>  
在宅自己  
注射可

フォリステム<sup>®</sup>  
在宅自己  
注射可

フォリステム<sup>®</sup>は、  
ペンタイプの注射器である  
フォリステムペン<sup>®</sup>で、  
注射を行います。



詳細はP12、13へ▶



## 一般不妊治療

### 卵子を育てる排卵誘発に使用します

対象の  
患者さん

- 経口薬の治療で妊娠に至らなかった方
- 月経不順の方、排卵がない方
- 多嚢胞性卵巣症候群(PCOS)の方 など

方法

卵子(卵胞)の発育状況や以前の治療経過などをみながら、一人ひとりに合わせて注射期間や注射量を決めていきます。

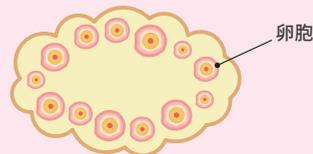


### 排卵誘発の注射スケジュール(イメージ)



### 多嚢胞性卵巣症候群(PCOS)とは？

卵胞が順調に育たず、卵巣に多くの発育途中の卵胞がある状態です。月経が稀であったり、なかったりする月経異常を伴います。



PCOSの方の卵巣(イメージ)



# フォリステム®とは？

## 生殖補助医療(ART)

体外受精のために、多くの卵子を育てる

調節卵巣刺激に使用します

### 対象の患者さん

- 一般不妊治療からステップアップされた方
- 卵管因子による不妊や男性不妊でARTを選択された方など

### 方法

- 卵子(卵胞)の発育状況や以前の治療経過などをみながら、一人ひとりに合わせて注射期間や注射量を決めていきます。
- 自然に排卵してしまうのを防ぐために、排卵を抑制するお薬を併用することがあります。



## 調節卵巣刺激の注射スケジュール(イメージ)





## 注射前

## 使用できない方、注意が必要な方がいます

- 乳がん、子宮内膜がん、卵巣がん、脳にがんがある方または可能性のある方
- 妊娠している方、妊娠している可能性がある方
- 不正出血のある方
- 卵子（卵胞）発育を促すホルモン製剤で過敏症が起きたことがある方
- 卵巣が腫れている/大きくなっている方（卵巣のう胞、卵巣腫大）
- 血が固まりやすい病気がある方（血栓塞栓性疾患）
- 甲状腺、副腎機能不全と診断を受けている方



ご使用いただけません。担当の医師にお知らせください。

- 子宮や乳房に病気がある方（子宮筋腫、子宮内膜症、乳房結節、乳腺症など）
- 乳がんにかかれたことのある方
- ご家族が乳がんにかかれたことのある方
- ご本人もしくはご家族に血が固まりやすい病気がある方（血栓塞栓症）
- 抗生物質（ストレプトマイシン、フラジオマイシン）にアレルギーのある方
- 授乳されている方



ご使用に際し、注意が必要です。担当の医師にお知らせください。



## フォリスチム<sup>®</sup>とは？

### 注射後

注射中や注射後に次のような症状が

みられた場合は、医療機関へご相談ください



フォリスチム<sup>®</sup>の注射中～注射後(2週間程度まで)に次の症状がある場合は、注射を中止しすぐに医療機関にご連絡ください。

### 注意を要する副作用：卵巣過剰刺激症候群(OHSS)

#### 卵巣過剰刺激症候群(OHSS)とは？

フォリスチム<sup>®</sup>は、卵巣内にある未熟な卵胞の発育を促し、卵胞に包まれている卵子を育てる製剤です。しかし、予想よりもたくさんの卵胞が刺激されてしまうと、卵巣が膨れたり、尿量が減りおなかや胸に水が溜まるなどの症状が起きてしまうことがあります。これを卵巣過剰刺激症候群(OHSS)と呼び、フォリスチム<sup>®</sup>の在宅自己注射時に最も注意しなければならない副作用です。症状がひどくなると、腎不全や血栓症など様々な合併症が生じたり、入院して治療することもあります。

早めに発見することで、予防薬を服用したり、注射を一時中断するなどの早めの対処ができますので、体調の変化を感じたらすぐに担当の医師や医療機関に連絡をしましょう。

#### 卵巣過剰刺激症候群(OHSS)の生じやすい時期

OHSSはフォリスチム<sup>®</sup>の注射中だけでなく、注射期間が終わった後、卵胞を成熟させるためのお薬(hCG製剤)を注射した後や妊娠が成立した時に、急速に悪化しやすいと言われています。そのため注射後24時間から2週間は症状が出やすいので、次のページのOHSSの初期症状を参考にし、体調の変化にとくに気をつけましょう。OHSSの症状は次の月経を迎えると自然におさまりますが、異常を感じた時には性交を控え、医療機関を受診しましょう。

#### 卵巣過剰刺激症候群(OHSS)の発生頻度

フォリスチム<sup>®</sup>を使用した排卵誘発や、生殖補助医療(ART)における調節卵巣刺激でのOHSS発生率は4.7%と報告されています\*。

\* フォリスチム<sup>®</sup>承認時の臨床試験結果より



## 卵巢過剰刺激症候群 (OHSS) の初期症状

フォリスチム<sup>®</sup>の注射中～注射後(2週間程度まで)はとくに注意が必要です。



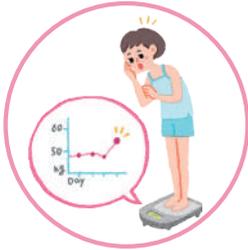
おなかが張る(ウエストがきつい)



おなかが痛む



はき気がする



急に体重が増えた



尿量が少なくなった



## 卵巢過剰刺激症候群 (OHSS) が生じやすい患者さんの特徴

次のような方は、注意しましょう。

- 若年(35歳未満)
- やせている
- 多嚢胞性卵巢症候群(PCOS)と診断されている
- AMH(抗ミュラー管ホルモン)が高値
- 過去にOHSSや多胎妊娠を経験している
- フォリスチム<sup>®</sup>の注射量を増加した
- 血中エストラジオール値が急に上昇した
- 発育している卵胞(卵子)数が多い
- 生殖補助医療(ART)の治療で採卵数が多い
- 卵胞を成熟させて排卵するお薬(hCG製剤)の用量が前回の治療より増えた
- 排卵誘発剤使用後に妊娠した



## フォリスチム<sup>®</sup>とは？

### その他の注意を要する副作用

#### ● 血栓塞栓症(頻度不明)<sup>\*</sup>

血のかたまり(血栓)が血管に突然つまる病気で、手足の麻痺やしびれ、しゃべりにくい、胸の痛み、呼吸困難、足の痛みを伴う腫れなどの症状がみられます。

急激な症状の変化がみられた場合には、放置せずにすぐに担当の医師に連絡をしましょう。

#### ● 流産(0.3%)<sup>\*</sup>、異所性妊娠(子宮外妊娠)(0.1%)<sup>\*</sup>

妊娠予定日もしくは胚移植後～3週間経過して、異常な下腹部痛、出血などがみられたら、必ず受診しましょう。

#### ● 多胎妊娠(29.0%)<sup>\*</sup>

1度に2人以上の赤ちゃんを妊娠する多胎は、お母さんの体への負担が大きく、妊娠高血圧、妊娠糖尿病などのリスクがあったり、赤ちゃんの発育不良などの影響が出ることがあります。現在では多胎妊娠を防ぐために、卵巣の様子をみながらフォリスチム<sup>®</sup>を少量ずつ注射する方法(一般不妊治療、排卵誘発)や、子宮に移植する胚(卵子)を1つに制限する(生殖補助医療:ART)など、多胎妊娠を予防する対策がとられています。

#### ● アナフィラキシー、アレルギー反応(いずれも頻度不明)<sup>\*</sup>

過去にフォリスチム<sup>®</sup>やその他の卵胞刺激ホルモン製剤などでアナフィラキシーやアレルギー反応を経験された方は、担当の医師にご相談ください。

上記の症状以外であっても、  
気になる症状や不安がある場合には、担当の  
医師・看護師・薬剤師に相談してください。

※ フォリスチム<sup>®</sup>承認時の臨床試験結果より





## 適切に保管してください

### カートリッジの保管方法

使用前

- 冷蔵庫(2~8℃)で保管

**❌ 凍らせない**

※ 冷蔵保存できなかった場合:有効期限内の3か月間は遮光で室温(25℃以下)で保存できます。

### カートリッジ装着済みペンの保管方法

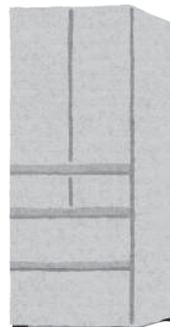
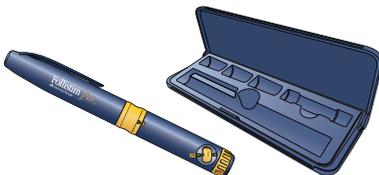
使用中

- 注射針を外し、カートリッジを入れたまま保護キャップをかぶせて保存(使用予定の薬液が残っている場合)
- 室温(25℃以下)で保管可能
- カートリッジ使用期限:使用開始後28日間
- ペンの耐用期間:使用開始後2年

**❌ 凍らせない**



※イメージ





# 自己注射をはじめましょう

注射の前に、必要なものが揃っていることを

確認してください

必ず、担当の医師・看護師・薬剤師の指示に従って正しくご使用ください。

- フォリステム<sup>®</sup>ペン<sup>®</sup>(注入器) 1本



冷たい薬液を注射すると不快に感じる場合があります。あらかじめ薬液を室温に戻しておくことをお勧めします。

- フォリステム<sup>®</sup>注カートリッジ(注入液)



銀色の金属リムキャップ



金色の金属リムキャップ



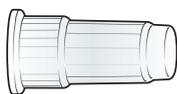
青色の金属リムキャップ



注) カートリッジの薬液中に異物が含まれていたり、透明でなかったり、あるいはカートリッジにひびが入っている場合は、ご使用をやめて処方された医療機関にご連絡ください。

- 注射針\*

JIS T3226-2に適合したA型の注射針\*



\_\_\_\_\_ 個

注射針は担当の医師より処方されたものをお使いください。

- 消毒用アルコール綿\*



\_\_\_\_\_ 個

アルコールに対してアレルギーのある方は、ノンアルコールの消毒綿も可。

- 廃棄ボトル\*  
1個



\*フォリステムペン<sup>®</sup>、フォリステム<sup>®</sup>カートリッジにこれらは付属していません。

※ A型専用注射針との適合性の確認を日本ベクトン・ディッキンソン社製BDマイクロファインプラス31G×5mm、テルモ社製ナノバースードルII 34G×4mmで行っています。

フォリステム<sup>®</sup>のカートリッジ本数、注射量、廃棄方法などについて、かかりつけの医療機関で説明書を用意していることがあります。その際は、かかりつけの医療機関の説明書の指示に従って確認を行ってください。



## ● 廃棄方法

使用済みの注射針（毎回）と空のカートリッジ

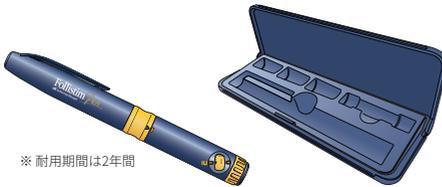


使用済み注射針と空のカートリッジは  
再利用せず、必ず廃棄ボトルに入れる



廃棄ボトルは治療周期終了後、  
医療機関にお持ちください。

フォリスチムペン®とペンケース（治療終了または故障時）



廃棄時は、プラスチックとして  
自治体の指示に従って  
廃棄してください。  
（プラマークがついています）

## ● 各部の名称

フォリスチム®注カートリッジ



フォリスチムペン®





# 自己注射をはじめましょう

## 手順に従って、注射をしましょう

### ● カートリッジと注射針を取り付けましょう

#### 薬用石鹸で手を洗う

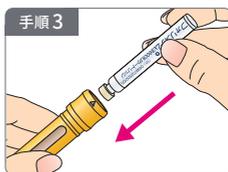


フォリスチムペン®の使用前やカートリッジを交換する場合には、両手を薬用石鹸で洗ってください。

#### カートリッジを取り付ける



手順1 保護キャップを引っ張って外し、ペン本体を回して、カートリッジホルダーから抜きます。



手順2 手順3 カートリッジのゴム製インレイ（ゴム栓）をアルコール綿で消毒してから、金属リムキャップ側からホルダーに挿入します。

注) アルコールに対してアレルギーのある方は、ノンアルコールの消毒綿も可。

手順4 ペン本体を回しながらカートリッジホルダーにしっかりとセットします。ペン本体とカートリッジホルダーとの間にすき間がないことを確かめてください。



#### 注射針を取り付ける



手順5 カートリッジホルダーの先端をアルコール綿で消毒します。

注) ● アルコールに対してアレルギーのある方は、ノンアルコールの消毒綿も可。

● ペンとカートリッジ先端のゴム栓に段差があるため、ゴム栓も十分に消毒してください。



手順6 注射針には触れないように、針ケースの保護シールをはがしてください。

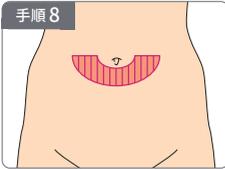


手順7 カートリッジホルダーの先端に針ケースごと、まっすぐ奥まで差し込み、止まるまで時計回りに回して確実に取り付けます。

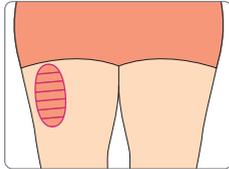


## ● 注射の前に、正しく投与できるように調整しましょう

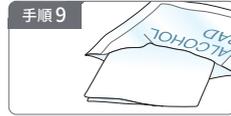
### 注射部位(皮膚)を消毒する



手順 8



注射に最も適した場所はおへそのすぐ下の下腹部又は太ももです。注射部位を毎回少しずつ変えてください。



手順 9

注) アルコールに対してアレルギーのある方は、ノンアルコールの消毒綿も可。

消毒用アルコール綿で、注射針を刺す部分の周囲約5cmの範囲を、中心から円を描くように外側に向かって消毒します。乾くまで30秒以上待ってから、注射を行ってください。

### 注射針を通る薬液をチェックする



手順 10

#### 針ケース

針ケースは針を捨てる時に必要になりますので、捨てないでください。



手順 11

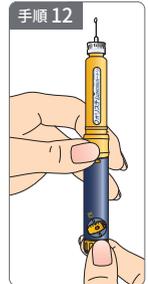
#### 針キャップ

外して捨ててください。

#### 新しいカートリッジを取り付けた場合

カートリッジ内に気泡があれば、針先を真上に向けて、フォリステムペン®を持ち、カートリッジホルダーを指で静かに叩き、気泡がカートリッジの先端が上がってくるようにします。

- 1 カチツと1回音が出るまでダイヤルを回し、針先を上に向けたまま、注入ボタンを押します。
- 2 注射針の先に薬液が1滴出るのを確認します。
- 3 出てこない場合は、1を繰り返す行い、必ず薬液が出るのを確認してから注射してください。

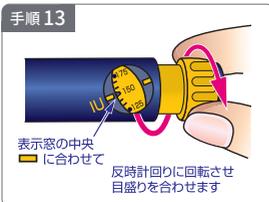


手順 12

針ケースと針キャップを注射針から外します。注射針には触れないように、注意しながら行ってください。

※注射の度に、注射針の先に薬液が出ることを確認し、出てこない場合は1を繰り返してください。

### 注射量を設定する



手順 13

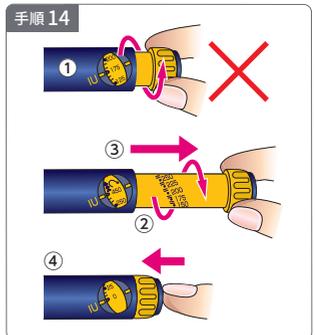
表示窓の中央  
■に合わせ

反時計回りに回転させ  
目盛りを合わせます

ダイヤルを回し、設定したい注射量の横の●が、注射量表示窓の中央、横線(-)の位置にくるようにします。“0”からダイヤルを反時計回りに回してください。

#### 間違っ、設定したい量より先まで回した場合

- 1 ダイヤルを反対に回さないでください。
- 2 “450”の表示を過ぎるまでダイヤルを回しきってください。ダイヤルが自由に動くようになります。
- 3 その後、引っ張ります。
- 4 注入ボタンを最後まで押し込み、もう一度“0”からダイヤルを回し、正しい注射量に目盛りを合わせ直します。



手順 14



# 自己注射をはじめましょう

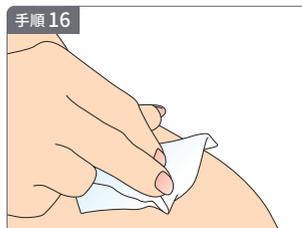
## ● 注射をしましょう

### 注射する



消毒した部分の皮膚を2本の指でつまみ、もう片方の手で、注射針を根元まで皮膚にまっすぐに差し込みます。5mm以下の注射針を使用する場合は、皮膚をつままず注射針を根元までまっすぐに差し込んでください。

**ペンをしっかり固定して注入ボタンを注射量表示窓が0になるまで完全に押し込み\***、そのまま少なくとも注射後に10秒間待って、注射針を皮膚から抜いてください。



注射針を皮膚から抜いた後は、注射部位をアルコール綿でしっかりと押さえてください。

注) アルコールに対してアレルギーのある方は、ノンアルコールの消毒綿も可。

**\*注入ボタンを押し込むことができず、注射量表示窓が0にならない場合、注射液が足りません。**

- 注射量表示窓に示された数字が不足分の注射量なので、この数字をメモしてください。
- 次に、新しいカートリッジに交換し、新しい注射針を取り付け、メモした不足分を注射します。先程とは違う位置に注射してください。

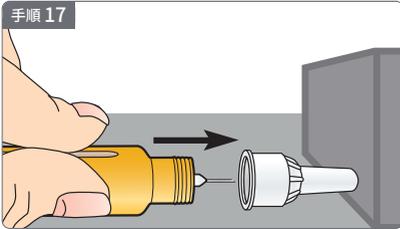
**注射前にカートリッジ内の残量が足りないことに気づいた場合は、注射前に新しいカートリッジに交換してください。**



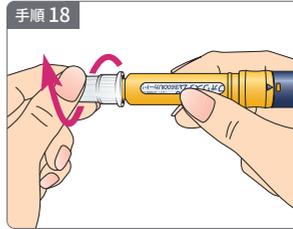


## ● 注射が終わったら、後片づけをしましょう

### 注射針を取り外し、廃棄する



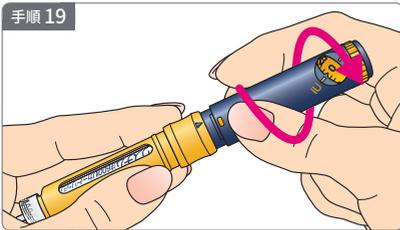
針刺事故を防止するために、片手だけを使用して針に針ケースをかぶせます。針ケースを横にして置き、先端を固い面に固定した後、片手でペンを持ち針ケースに針を押し込むと、片手でも針ケースをかぶせることができます。



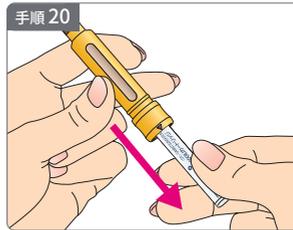
針ケースをかぶせた注射針を反時計方向に回して取り外し、廃棄ボトルに廃棄してください。

**絶対に注射針をつけたまま保管しないでください。**

### 空のカートリッジは、取り外し廃棄する



注射針を外したら本体からカートリッジホルダーを外します。



その後、空のカートリッジを取り出し、廃棄ボトルに廃棄します。

カートリッジの容量が残っている場合は、  
P11「フォリスチム®とは？>適切に保管してください」を  
ご確認ください。



## こんな時はどうしたらよいのでしょうか？

**Q.** カートリッジをセットし、薬液の流れをチェックしようとしたのですが、針先に薬液が出てきません。

**A.** 空のカートリッジをセットしていませんか？  
カートリッジに薬液が入っているようでしたら、カートリッジホルダーとペン本体の取り付けが不十分、もしくは注射針が正しく取り付けられていないかもしれません。今取り付けられている注射針を取り外し、ペン本体をカートリッジホルダーに取り付け直してください。  
この際、一度取り外した注射針は使わないようにしてください。

**Q.** 注射の際に、ダイヤルが"0"に戻りません。

**A.** カートリッジが空になっていませんか？  
新しいカートリッジに交換し、不足分の注射量を確認後、注射してください。

**Q.** ダイヤルを次の数字まで回しても、カチッという音がせず、注入ボタンが勝手に回ります。

**A.** 注射のモードになっていません。注入ボタンを完全に押し込み、注射量表示窓の数字を“0”に戻してください。

**Q.** フォリスチムペン<sup>®</sup>からカートリッジが出てきません。

**A.** 注射針がついたままになっていませんか？ 注射針をフォリスチムペン<sup>®</sup>から外し、廃棄してください。

**Q.** 治療記録をきちんとつけ、正規の薬液量を最後まで注射した後も、カートリッジ内に薬液が残っていることがあります。

**A.** 薬液の流れをチェックできるように、カートリッジ内には正規の量よりも多めに薬液が入っています。カートリッジを廃棄して問題はありません。



## (Q&A)

**Q.** 注射針を皮膚から抜いた時に、注射針から薬液がこぼれています。

**A.** 注射の際、少なくとも10秒間待ってから注射針を皮膚から抜くようにしてください。10秒間待つことで、設定した全量を注射することができます。

**Q.** 使っていない注射針をフォリステムペン®に取り付けたまま保存してはダメですか？

**A.** 保存する場合は、注射針は必ず外してください。注射針を取り付けたまましていると針先から薬液がこぼれたり、カートリッジ内の薬液が汚れてしまう場合があります。

**Q.** 注射をする時間は決まっていますか？

**A.** 医師の指示がある場合は、その時間に注射するようにしてください。ご自身で決めてよい場合は、なるべく毎日同じ時間帯に注射するようにしましょう。

**Q.** 注射をし忘れた時は、どうすればよいですか？

**A.** 気がついた時にすぐに投与してください。半日以上注射の時間が空いてしまったなど、次の注射の時間が近い時には、かかりつけの医療機関にお問い合わせください。

**Q.** 冷蔵庫で保存していましたが、注射液が凍結してしまいました。

**A.** 一度凍結した注射液はご使用になれません。医療機関にお持ちください。



# 治療記録を残しましょう

注射の際に薬液量を毎日記録しておきましょう。また、体調や疑問点などをメモし、受診時に医師と治療経過を確認する際にお役立てください。

下記の説明と右ページの例を参考にし、治療記録のつけ方を確認しましょう。

## ① 医師から処方されたカートリッジの容量と本数、 1日の注射量を記入しましょう

- カートリッジは300IU、600IU、900IUのいずれかになります。処方されたカートリッジの容量と本数を確認してください。
- 医師から指示された1日の注射量を記入します。

## ② 1日目の注射後のカートリッジの残量を記入しましょう (a)

カートリッジの容量(300IU、600IU又は900IU)から、1日の注射量を差し引いてください。これで、カートリッジの残量がわかります。

カートリッジの容量－1日の注射量＝カートリッジの残量

## ③ 2日目のカートリッジの容量を前日から書き写しましょう (a)

1日目に記録した「カートリッジの残量」の項の数字 (a) を、2日目の「カートリッジの容量」の項に書き写してください。

1日目のカートリッジの残量＝2日目のカートリッジの容量

## ④ 2日目の注射後のカートリッジの残量を記入しましょう (c)

「カートリッジの容量」から、2日目に注射した量 (b) を差し引いてください。これで、「カートリッジの残量」がわかります。この数字 (c) を2日目の残量の項に記録してください。

カートリッジの残量 (c) = (a) - (b)



## ● 治療記録(例)

① カートリッジは、	<input type="text" value="600"/>	IU が	<input type="text" value="1"/>	本 ( 5/1 から使用開始)
カートリッジは、	<input type="text" value="300"/>	IU が	<input type="text" value="1"/>	本 ( 5/5 から使用開始)
カートリッジは、	<input type="text"/>	IU が	<input type="text"/>	本 ( / から使用開始)
1日の注射量は、	<input type="text" value="150"/>	IU (	<input type="text" value="5/1"/>	から使用開始)

## | 週目

前日の「カートリッジの残量」を書き写します。

日付	1日の注射量 (IU/日)	カートリッジの内容量	カートリッジの残量
5 / 1	150	600	450 (a)
5 / 2	150 (b)	450 (a)	300 (c)
5 / 3	150	300	150
5 / 4	150	150	0
5 / 5	150	300	150
5 / 6	150	150	0
5 / 7			

1本目 使用開始

②

③

④

1本目 使用終了

2本目 使用開始

メモ

体調や次回の診察時に質問したいことなどをメモしましょう。



# 治療記録

カートリッジは、  IU が  本 ( / から使用開始)

カートリッジは、  IU が  本 ( / から使用開始)

カートリッジは、  IU が  本 ( / から使用開始)

1 日の注射量は、  IU ( / から使用開始)

## 週目

\*前日の「カートリッジの残量」  
を書き写します。

日付	1 日の注射量 (IU/ 日)	カートリッジ の内容量	カートリッジ の残量
/			
/			*
/			
/			
/			
/			
/			

メモ



カートリッジの残量 (c) = カートリッジの内容量 (a) - 1日の注射量 (b)

## 週目

\*前日の「カートリッジの残量」  
を書き写します。

日付	1日の注射量 (IU/日)	カートリッジ の内容量	カートリッジ の残量
/			*
/			
/			
/			
/			
/			
/			

メモ



# 治療記録

カートリッジは、	<input type="text"/>	IU が	<input type="text"/>	本 ( / から使用開始)
カートリッジは、	<input type="text"/>	IU が	<input type="text"/>	本 ( / から使用開始)
カートリッジは、	<input type="text"/>	IU が	<input type="text"/>	本 ( / から使用開始)
1 日の注射量は、	<input type="text"/>	IU ( / から使用開始)		

## 週目

日付	1 日の注射量 (IU/ 日)	カートリッジの内容量	カートリッジの残量
/			
/			
/			
/			
/			
/			
/			

メモ



カートリッジの残量 (c) = カートリッジの内容量 (a) - 1日の注射量 (b)

## 週目

日付	1日の注射量 (IU/日)	カートリッジ の内容量	カートリッジ の残量
/			
/			
/			
/			
/			
/			
/			

メモ



# 治療記録

カートリッジは、	<input type="text"/>	IU が	<input type="text"/>	本 ( / から使用開始)
カートリッジは、	<input type="text"/>	IU が	<input type="text"/>	本 ( / から使用開始)
カートリッジは、	<input type="text"/>	IU が	<input type="text"/>	本 ( / から使用開始)
1 日の注射量は、	<input type="text"/>	IU ( / から使用開始)		

## 週目

日付	1 日の注射量 (IU/ 日)	カートリッジの内容量	カートリッジの残量
/			
/			
/			
/			
/			
/			
/			

メモ



カートリッジの残量 (c) = カートリッジの内容量 (a) - 1日の注射量 (b)

## 週目

日付	1日の注射量 (IU/日)	カートリッジ の内容量	カートリッジ の残量
/			
/			
/			
/			
/			
/			
/			

メモ

## オルガノン株式会社 カスタマーサポートセンター

電話番号 0120-095-213(フリーダイヤル)

受付時間 9:00~17:30(土日祝日・当社休日を除く)

〒107-0062 東京都港区南青山1-24-3 WeWork Nogizaka

[www.organon.com/japan](http://www.organon.com/japan)